観光地域づくり法人形成･確立計画

記入日：令和７年　７月　３１日

１．観光地域づくり法人の組織

申請区分 ※該当するものを〇で囲むこと	地域ＤＭＯ	
観光地域づくり法人の名称	一般社団法人 DMO やつしろ	
マネジメント・マーケティング対象とする区域	区域を構成する地方公共団体名 熊本県八代市	
所在地	熊本県八代市	
設立時期	平成２８年３月１日	
事業年度	４月１日から翌年３月３１日までの１年間	
職員数	１８人【常勤１０人（正職員８人・出向等２人)、アルバイト８名】	
代表者（トップ人材：法人の取組について対外的に最終的に責任を負う者） ※必ず記入すること	（氏名） 福島　誠治 （出身組織名） 八代市	令和２年度途中に当時の代表理事逝去に伴い、自治体の支援により八代市副市長が代表理事に着任、現在に至る。自治体の関係各課との連携など迅速に対応するための指導やアドバイスを頂いている。
データ分析に基づいたマーケティングに関する責任者（ＣＭＯ：チーフ・マーケティング・オフィサー ※必ず記入すること	（氏名） 中村　和博「専従」 （出身組織名）	令和３年１２月に採用。他自治体の観光協会において専務理事を務めるなど、観光・物産の両面において経験が豊富である。
財務責任者（ＣＦＯ：チーフ・フィナンシャル・オフィサー） ※必ず記入すること	（氏名） 佐藤　圭太「専従」 （出身組織名） 八代市 OB	八代市役所で３４年間勤務。持続可能な運営のため、運営収支や財源確保に関する検討を行う。
各部門（例：プロモーション）の責任者（専門人材）		

様式１

※各部門責任者のうち専従の者については、氏名の右横に「専従」と記入すること		
各部門（例：旅行商品の造成･販売）の責任者（専門人材）	（氏名） 石橋　信明「専従」 （出身組織名）	ＤＭＯ設立時から勤務し、観光振興全般の業務に従事。その中でも特にクルーズ船寄港受入に関しての実績も多く、現在も船会社、旅行代理店との連携を密にしており、今後のクルーズ船寄港受入なども対応予定。
連携する地方公共団体の担当部署名及び役割	○熊本県八代市 経済文化交流部　観光振興課（イベント、観光、物産、インバウンド） 文化振興課（日本遺産活用） スポーツ振興課（大会宿泊斡旋） 港湾・クルーズ振興課（大型クルーズ船受入） 総務企画部　各地域支所　地域振興課（イベント、マーケティング） 農林水産部　フードバレー推進課（農産物の国内外販路拡大） ほか関係各課 ○熊本県 観光文化部　観光振興課（プロモーション、クルーズ船、教育旅行） 熊本県知事公室　くまモン課（くまモンを使った地域振興） 熊本県農林水産部流通アグリビジネス課（農林水産物等の国内外進出） （公社）熊本県観光連盟 熊本県県南広域本部　総務課・振興課（イベント、マーケティング）	
連携する事業者名及び役割	○旅行商品造成関係 ・有限会社神園交通グループ営業部（タクシー協会） ・八代商工会議所（工場見学などの旅行商品、中心市街地活性化） ・ＪＡやつしろ（収穫体験等の旅行商品・農産物の販路開拓） ・八代旅館組合・日奈久温泉旅館組合・五家荘宿の会（宿泊） ・泉町観光協会・湯の里日奈久振興会（地域の観光推進） ・熊本県観光連盟（観光推進） ・八代漁協（水産業の振興及び舟出浮きの利用促進） ・やつしろ観光ガイド協会（観光客へのサービス向上） ・八代森林組合（林業の振興及びヘルスツーリズムの推進） ・ＹＡＭＡＨＡ八代工場（産業観光の推進） ・メルシャン八代工場（産業観光の推進） ・ＹＫＫ八代工場（産業観光の推進） ・日本製紙八代工場（産業観光の推進） ・興人ケミカル八代工場（産業観光の推進） ○イベント等のＰＲ ・八代市体育協会（スポーツイベント開催） ・八代妙見祭保存振興会（妙見祭の桟敷席販売） ・やつしろ全国花火競技大会実行委員会（バスツアー席の手配） ・八代市伝統文化活性化協議会（妙見祭などの伝統芸能の振興） ・湯の里日奈久振興会、住民自治会（ONNSEN ガストロノミー実施） ○物産の振興 ・八代市商工会（物産品の企画・開発・販売） ・八代よかとこ物産館などの物販施設（農林水産物等の販売）	

様式１

	○地域活性化関係 ・八代経済開発同友会（地域活性化の推進） ・八代青年会議所（地域活性化の推進） ・熊本県タクシー協会八代支部（２次交通の利用促進） ・九州産交バス（２次交通の利用促進）
官民･産業間･地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み	【該当する登録要件】 （概要）観光資源の関係者や商工会議所、宿泊事業者の組合、交通事業者、商工会、行政等が参画し、当法人を形成している。 また、観光・物産の両面において部会を設置しており、正会員及び一般会員から参画し、合意形成の場として運営を行っている。 （登録要件） ①代表理事は行政から着任　理事には観光地域づくり法人の意思決定に関与できる立場で行政、文化、宿泊事業者、経済団体など幅広い分野の事務局長職が参画。また、監事には経済団体２団体に参加いただいている。 また、顧問としてスポーツ、農林漁業、県などからも参加 ②法人の会員を分野で分け、観光振興事業、物産振興事業を推進するために令和４年度から役員会・全体会と開催、意見の集約を図っている。 コロナ禍により令和２年～３年度は実施せず。
地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組	・地域住民による観光協力団体「きびっと隊」を結成し、定期的に勉強会を開催するとともに、各種イベントやクルーズ船寄港時のおもてなし向上や、観光案内のスタッフとして協力を仰いでいる。 ・お堀舟巡り ・大型クルーズ船入港時の通訳など ・地域の特産品である GI 商品
法人のこれまでの活動実績	**【活動の概要】**

事業	実施概要
情報発信・プロモーション	○令和６年度　ふるさと納税業務 ・全国各地のイベントへの出展（7 回） ・都市圏にてやつしろの食を楽しむイベントの開催（2 回） ○令和６年度　観光物産イベント等業務 ・市内外にて特産品等を販売する物産展の開催（16 回） ・博多にて地域特産品の販売 ○令和６年度　クルーズ船寄港受入 ・旅行会社向け FAM ツアーの実施 ・旅行会社訪問による地域ツアーの提案 ○令和６年度　やつしろ全国花火競技大会関連 ・旅行会社訪問による大会誘客及び地域情報発信 ・台湾旅行会社向け商談会への参加 ○ホームページ及び各種 SNS による情報発信 ○台湾での熊本県 PR イベントへの参加による地域情報発信
受入環境の整備	○令和６年度　クルーズ船寄港受入 ・大型クルーズ船受入対応（32 回） ・歓送迎おもてなしアトラクションの実施（28 回） ・中心市街地までのシャトルバス運行（9 回） ・ジャンボタクシーを利用したツアー造成及び実施（3 回） ○令和６年度　八代市アウトドアツーリズム推進事業 ・アウトドアステーションやつしろの運営 （レンタサイクル、キャンプ用品の貸出） ・クルーズ船寄港時におけるレンタサイクルの貸出 ・アウトドア体験イベントの開催

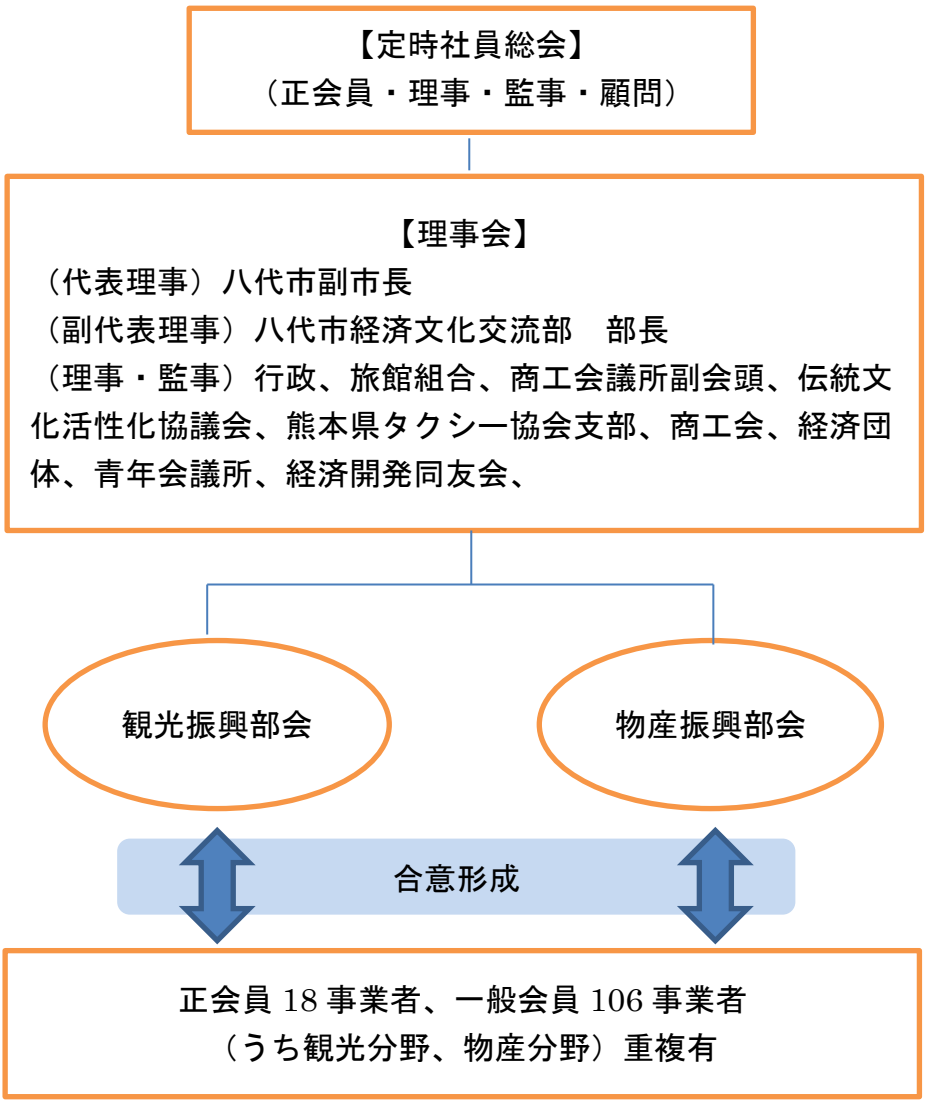
		・サイクリングガイドの育成 ・サイクリングツアーの造成 〇令和６年度　やつしろ全国花火競技大会関連 ・バスツアーの受入対応（35 社　4,112 名） 〇令和６年度　八代妙見祭関連 ・観覧席（桟敷席）の運営 ・臨時シャトルバス運行 ・臨時有料駐車場運営 〇令和６年度　観光案内所運営業務 ・JR 八代駅にある観光案内所の運営 〇令和６年度　八代市民俗伝統芸能伝承館（お祭りでんでん館）案内・監視等業務 ・八代妙見祭を中心とした八代の様々な祭りの紹介 〇令和６年度　着地型旅行商品の販売（4 種） ・地域資源を最大限に活用する為、着地型旅行商品を販売 〇令和６年度　宿泊手配事業（4 大会　のべ 1,526 名宿泊） ・地域旅館組合と連携し、各スポーツ大会開催時に参加者等の宿泊を手配 〇令和６年度　マーケティング調査 ・八代市内の宿泊施設と連携した、旅行者の調査
	観光資源の磨き上げ	〇令和６年度　ふるさと納税業務 ・ふるさと納税返礼品事業者を巡るツアーの開催 〇令和６年度　クルーズ船寄港受入 ・地域事業者と地域産品の掘り起こしによるツアーの造成 〇令和６年度　八代市アウトドアツーリズム推進事業 ・地域資源を活用したサイクリングコースの策定 〇令和６年度　謎解きロゲイニング事業 ・地域の魅力を再発見するイベントの開催 〇令和６年度　地域観光新発見事業 ・八代生姜取扱い店舗の拡大（40 社→52 社） ・生姜焼きコンテストの開催 〇令和６年度　日本遺産における魅力増進・魅力発信事業 ・音声ガイドシステムロケトーンを活用した地域案内（八代中心市街地、東陽町） 〇すーぱーばんぺいゆ号延伸事業 ・熊本空港からくまモンポート八代までの路線延伸

【定量的な評価】

（定量的な評価）

ONSEN ガストロノミーin 日奈久温泉　参加者 154 名（前年比　-3 名）
観光マーケティング調査　令和 6 年 4 月～令和 7 年 3 月実施　593 サンプル（前年比+41）
観光物産イベント　　16 回（前年比＋7）
ふるさと納税 PR 業務　7 回（前年比＋2 回）
寄付者ツアー　参加者　8 名（前年比-5 名）
クルーズ船受入対応　32 回（前年比＋14 回）
クルーズ船受入に関する FAM ツアー　1 回（前年比 0）
やつしろ全国花火競技大会バスツアー　参加者 4,112 名（前年比＋69 名）
ふるさと直送便販売数　合計:531 個（前年比-65 個）
教育旅行受入　35 名（前年比-140 名）

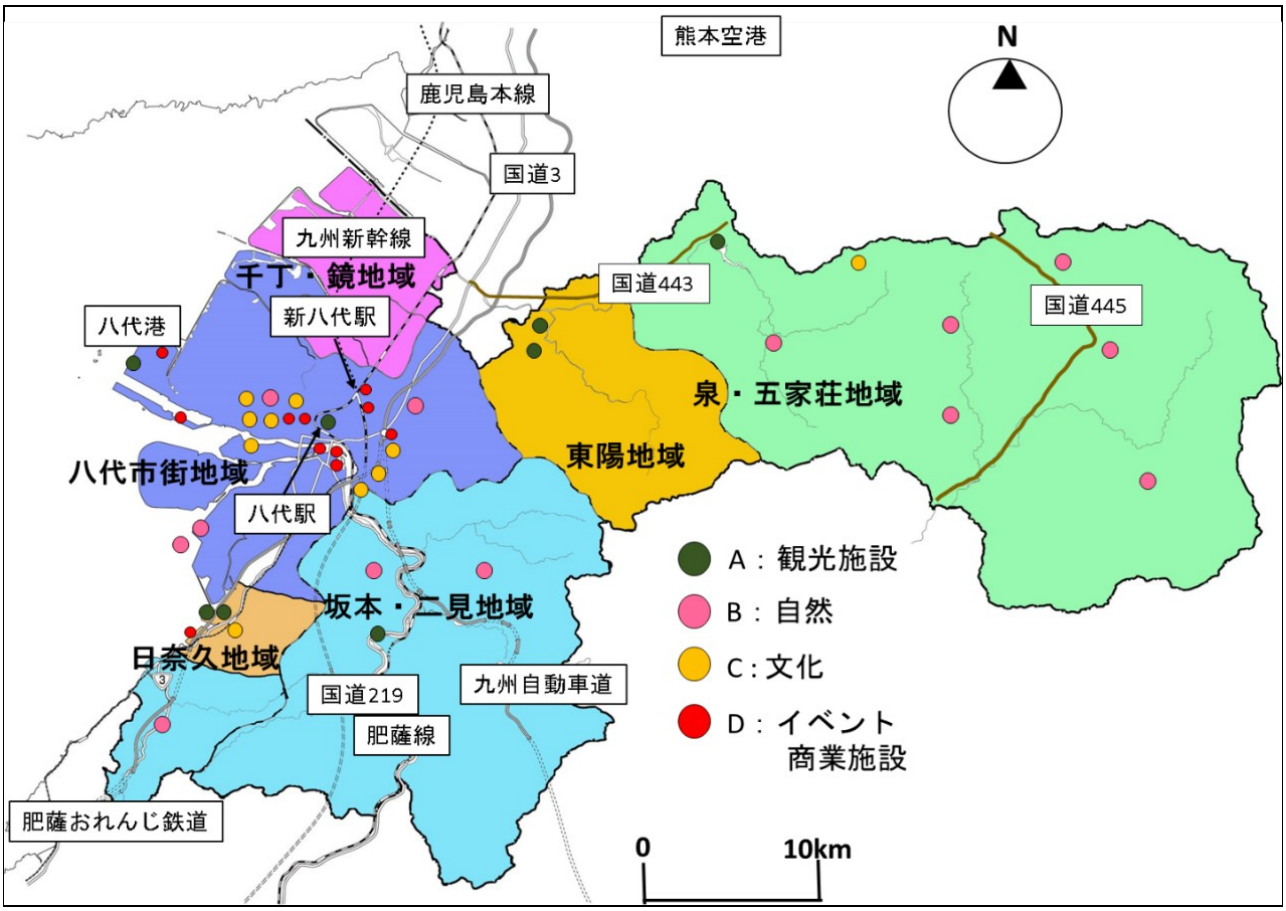
様式１

実施体制 ※地域の関係者との連携体制及び地域における合意形成の仕組みが分かる図表等を必ず記入すること（別添可）。	**【【実施体制の概要】** 一般社団法人ＤＭＯやつしろは、構成団体として行政、宿泊業者、飲食業、交通事業者、商工業、経済界など多様な関係者が参画しており、官民が密接に連携した運営の実施している。 　また、観光部門・物産部門の２分野において、部会長を設置し役員会・全体会を設定。法人運営時にあたり意見やアイデアを出す場として活用・運営している。 **【実施体制図】** 

様式１

２．観光地域づくり法人がマネジメント・マーケティングする区域

区域の範囲が分かる図表を挿入】



【区域設定の考え方】

当法人がマーケティング・マネジメントする区域は、平成の大合併により次の区域により構成される。　①八代市街地　②日奈久地域（温泉街）③坂本・二見地域　④千丁・鏡地域　⑤東陽地域　⑥泉・五家荘地域　であり、各地域の特徴（歴史・文化・農産物ほか）を活かして観光・物産の両面で振興している。

①八代中心市街地

八代市街地は、平成の合併前の八代市の大半を占める。旧八代市は、ここに日奈久地域と二見地域を加えた範囲である。熊本県南の中心的な市で、県下第２の人口を有する田園工業都市で日本三急流の一つである球磨川が分流して不知火海に注ぐ三角州地帯の北岸に市街地がある。

江戸時代には、熊本藩主細川氏の筆頭家老松井氏の城下町として栄え、中心市街地では、現在も商店街や公共施設、病院等の都市機能が多数集積し、商人文化の伝統が色濃く残る祭りが受け継がれている。また、当該区域には、昭和初期から本市の工業都市として地域発展に寄与した日本製紙八代工場、メルシャン八代工場などの工場が今でも点在している。

一方、江戸時代から行われてきた干拓地は、現在、トマトや米などの多くの農産物が生産され、特に冬春トマトは、日本一の生産量を誇る区域でもある。しかし、中心市街地の商店街を取り巻く状況が予想以上に変化したため、中心市街地の疲弊が進んでいる状況である。また、熊本地震での建物被害により、商業施設の閉鎖などあり、買い物客が減少している状況である。

ここにまちの活気と買い物客を呼び戻し、八代中心市街地から八代地域における活性化のうねりをおこす必要がある。令和５年度よりクルーズ船の寄港が再開され、より一層、国や県と連携して引き

続き誘致に努める。欧米豪のＦＩＴを中心に誘致、旅行商品は海、山、川など総動員して歴史文化、生姜を活用した料理などをガストロノミーツーリズムとして令和５年度より展開中。

②日奈久地域（温泉街）
日奈久地区は本市の南部に位置し、天草諸島を望む不知火海（八代海）の海岸沿いに旅館街がある。木造三階建てが点在し往時の名残をとどめており、海の幸も豊富である。
合計１４の泉源が集中しているが、現在は温泉協同組合を作り、一部の温泉を除いて共同管理している。湧出量は毎時１４０トン、ほとんどの旅館がかけ流しである。国道から一歩入った所には白壁や木造三階建ての旅館があり、今でも昭和初期のひなびた雰囲気が残っており、古い風情を感じさせている。そのような雰囲気を感じながら日奈久の特産品であるちくわを片手に路地裏へ旅に出る散策は、観光客にのんびりとした時間と安らぎを与えている本市を代表する観光地域である。
ここでしっかりとしたマーケティングを行い、日奈久地区にある観光資源を生かし、リアリティーのある体験・過ごし方を顧客に提供できるよう商品化し、利益が地元に落ちるシステムを構築していく。令和３年度より取り組んでいるONSENガストロノミーツーリズムを中核として住民一体となり集客に注力している。

③坂本・二見地域
坂本町は、平成の合併で八代市に対等合併した。二見地域は、旧八代市の南端に位置している。
球磨川左岸の坂本村区域と二見地域は隣接し、大部分を山間地域が占め、同じような地形・産業が見られる。また、人々の交流も両地域間で活発に行われてきた一体性のある地域であるが現在は、過疎化と限界集落化が進んでいる。
両地域を含む球磨川流域は、鎌倉時代以来相良氏が居をかまえ、球磨様式と称される独自の仏教を展開していることから、仏像が数多く点在している。現在は、地元で採れた農産物の販売をはじめ、球磨川を活用したイベントやジビエの加工施設などを整備し、両地域とも地域の特徴を生かした活動を行っている。

④千丁・鏡地域
千丁町と鏡町は、平成の合併で八代市に対等合併した。両地域は、八代平野の北部に位置し、干拓起源の農村であり、現在もいぐさやトマトなどの多くの農産物が生産されている。特にいぐさは、日本一の生産量を誇り、敷物だけでなく、加工食品としての商品開発を行っており、地域の代表的な特産品として活用を広げている。この地域は区域が狭く隣接しあい、人々の交流も以前から活発に行われてきた。

⑤東陽地域
東陽町は、平成の合併で八代市に対等合併した。氷川水系左岸側の山間地域は旧八代市に隣接している。四方を山々に囲まれた圃場と大量の湧き水は、生姜の栽培に適した絶好な圃場となり、国内最大級の生産量を誇っている。この生姜で使用した生姜ジャムなどの加工食品は、市内外の方に好まれており、生姜は町おこしになくてはならない産物である。この地域の基幹産業は、農林業であり、生姜以外でも、晩白柚や不知火など豊富な産物が収穫されている。八代生姜の生産地として、謎解きロゲイニングや生姜を活用したまちづくりを推進し、交流人口の拡大を図っている。

⑥泉・五家荘地域
九州山地の西部、川辺川の水源の山林地域の熊本県八代市（肥後国八代郡）東部の久連子（くれこ）・椎原（しいばる）・仁田尾・葉木・樅木の５地域の総称。昭和５７年（１９８２年）５月１５日に国定公園に指定され、豊かな自然と独自の伝統文化が注目されて観光地としての開発も進むことになった。春には新緑に輝き、夏には渓流で戯れ、秋には紅葉が彩り、冬には荘厳な雪景色を観光客に楽しませ、四季折々の多彩な顔を持っている「五家荘」をマーケティングし、都会では、体験できない天空の秘境をより多くの方に味わってもらいたい。

【観光客の実態等】
※設定区域における観光客入込客数、延べ宿泊者数、消費額等を踏まえて記入すること。

【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】
①　八代中心市街地
観光施設：松浜軒、八代城址、月見櫓跡の大銀杏、未来の森ミュージアム、
他 施 設：本町アーケード、がらっぱ広場、がめさん公園、他公園、くまモンポート八代
植物・花：桜、ヤツシロソウ、肥後花菖蒲、臥龍梅（がりょうばい）
イベント：妙見祭、くま川祭り、土曜夜市、お雛祭り、塩屋八幡宮祭
特 産 品：トマト、晩白柚、イグサ、メロン、キャベツ、いちご、青のり、このしろ、アユ
商業施設：イオン八代ショッピングセンター、ゆめタウン八代店、八代よかとこ物産館

②　日奈久地域（温泉街）
観光施設：日奈久温泉、ばんぺい湯、温泉神社、お告げの石、なまこ壁、おりや、日奈久ゆめ倉庫、金波楼などの木造旅館、路地裏
他 施 設：ＪＲＡ場外馬券場、日奈久ドリームランド
自　然：不知火海
イベント：丑の湯祭り、九月は日奈久で山頭火、ひなぐ雛祭り、日奈久温泉スプリングフェスタ
特 産 品：高田焼、ちくわ、ちくわサラダ、竹細工、ニッケ玉

③　坂本・二見地域
【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】
観光施設：坂本温泉センタークレオン、道の駅「さかもと」、八竜天文台、坂本わいわいパーク
日光の棚田、二見海水浴場、ＳＬ人吉（令和６年引退）

④　千丁・鏡地域
【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】
他 施 設：パトリア千丁、鏡文化センター、フードバーアグリビジネスセンター、大鞘樋門
吉王丸日吉神社 、岩崎神社、有佐貝塚、貝洲加藤神社
自　然：潮干狩り、氷川
イベント：いぐさの郷祭り、かがみ愛鏡祭、鮒取り神事、十八夜
特 産 品：畳表、イ草加工品、トマト、じゃがいも

⑤　東陽地域
【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】
観光施設：東陽交流センター せせらぎ、東陽石匠館、石橋、美生の棚田、天神木場の棚田
他 施 設：河俣阿蘇神社、大通り峠
自　然：氷川、河俣川
イベント：東陽しょうが祭り
特 産 品：生姜（加工品含む）、晩白柚、不知火、アユ

⑥　泉・五家荘地域
【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】
観光施設：緒方家、左座家、五家荘平家の里、梅ノ木轟公園つり橋、樅木のつり橋、久連子古代の里、五家荘自然塾、 五家荘渓流キャンプ場、釈迦院、ふれあいセンター泉
他 施 設：二本杉広場、登山道、氷川ダム
自　然：紅葉、せんだん轟の滝、梅ノ木轟の滝、矢山岳などの山、吊り橋
植物・花：しゃくなげ、かたくり、福寿草
イベント：平家泉お茶まつり、五家荘紅葉祭、ヤマメ釣り大会、平家琵琶と夜神楽
特 産 品：お茶、やまめ、ます、山椒、柚子、柚子こしょう、ジビエ肉

様式１

【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】

①　　八代中心市街地
施設数　14　　収容人数　1,570 人
②　　日奈久地域（温泉街）
施設数　10　　収容人数　316 人
③　　坂本・二見地域
施設数　2　　収容人数
④　　千丁・鏡地域
施設数　1　　収容人数　49 人
⑤　　東陽地域
なし
⑥　　泉・五家荘地域
施設数　4　　収容人数　82 人

■八代旅館組合 ■日奈久温泉旅館組合 ■五家荘旅館組合 ■組合所属なし

エリア	ホテル・旅館名	住所	部屋数	収容人数	電話番号
八代市内	球磨川旅館	萩原町1-2-1	11	39	(0965)32-2015
	ホテルウィングインターナショナル熊本八代	旭中央通23-1	130	133	(0965)32-0711
	なにわ荘	清水町1-12	14	50	(0965)32-8145
	八代グランドホテル	旭中央通り10-1	74	120	(0965)32-2111
	やつしろホテル	麦島東町9-11	25	50	(0965)32-2223
	セレクトロイヤル八代	本町2丁目1-5	103	163	(0965)34-1111
	ビジネス旅館やまだや	出町6番18号	10	18	(0965)33-1732
	朝日旅館	鏡町888-3	15	49	(0965)52-0242
	ホテル大黒屋	麦島西町7-15	30	64	(0965)34-0500
	つる乃湯	川田町西505	30	40	(0965)39-1000
	東横イン新八代駅	上日置町4790-1	134	162	(0965)31-1045
	ホテル・アルファーワン八代	本町1-8-39	191	209	(0965)31-0505
	ルートイン八代	本町1-1-5	207	255	(0965)53-0011
	スポーツ合宿所　夢ドリーム	郡築二番町117-1	6	60	(0965)37-1204
	スーパーホテル熊本・八代	夕葉町4-1	100	207	(0965)39-9000
日奈久	金波楼	日奈久上西町336-3	14	40	(0965)38-0611
	柳屋旅館	日奈久中町326	9	30	(0965)38-0125
	鏡屋旅館	日奈久上西町361	4	13	(0965)38-0026
	あたらし屋旅館	日奈久中町283	7	29	(0965)38-0213
	ひらやホテル	日奈久東町260-1	6	20	(0965)38-0015
	不知火ホテル	日奈久中西町新4	10	30	(0965)38-0414
	旅館　宝泉	日奈久中町522	7	25	(0965)38-0823
	ホテル潮青閣	日奈久中西町485	24	72	(0965)38-3300
	新浜旅館	日奈久上西町487-1	8	25	(0965)38-0838
	浜膳旅館	日奈久中西町379	12	32	(0965)38-0103
泉・五家荘	民宿平家荘	泉町葉木26	4	12	(0965)67-5256
	山女魚荘	泉町樅木106-2	5	20	(0965)67-5201
	樅木山荘	泉町樅木147	11	25	(0965)67-5211
	佐倉荘	泉町葉木6	5	25	(0965)67-5267
	左座荘	泉町仁田尾65	5	15	(0965)67-5466

【利便性：区域までの交通、域内交通】

①　八代中心市街地

〇区域までの交通

ＪＲ等：九州新幹線、鹿児島本線、肥薩線、肥薩おれんじ鉄道

道　路：九州自動車道路、南九州西回り自動車道路、

国　道：国道３号線、国道２１９号線

船　舶：八代港（コンテナ国際定期航路）、くまモンポート八代（大型クルーズ客船航路）

〇域内交通

一般バス：産交バス（市内一円）、神園交通（熊本空港―八代市内）

②　日奈久地域（温泉街）

〇区域までの交通

ＪＲ等：九州新幹線、鹿児島本線、肥薩線、肥薩おれんじ鉄道

道　路：九州自動車道路、南九州西回り自動車道路、

国　道：国道３号線、国道２１９号線

船　舶：八代港（コンテナ国際定期航路）、くまモンポート八代（大型クルーズ客船航路）

〇域内交通

一般バス：産交バス（市内一円）、神園交通（熊本空港―八代市内）

③　坂本・二見地域

〇区域までの交通

ＪＲ等：九州新幹線、鹿児島本線、肥薩線

道　路：九州自動車道路、南九州西回り自動車道路

国　道：国道３号線、国道２１９号線

船　舶：八代港（コンテナ国際定期航路）、くまモンポート八代（大型クルーズ客船航路）

〇域内交通

一般バス：産交バス（市内一円）、神園交通（熊本空港―八代市内）

④　千丁・鏡地域

〇区域までの交通

ＪＲ等：九州新幹線、鹿児島本線

道　路：九州自動車道路、南九州西回り自動車道路

国　道：国道３号線

船　舶：八代港（コンテナ国際定期航路）、くまモンポート八代（大型クルーズ客船航路）

〇域内交通

一般バス：産交バス（市内一円）、神園交通（熊本空港―八代市内）、

⑤　東陽地域

〇区域までの交通

ＪＲ等：九州新幹線、鹿児島本線

道　路：九州自動車道路、南九州西回り自動車道路

国　道：国道３号線、国道２１９号線、国道４４３号線

船　舶：八代港（コンテナ国際定期航路）、くまモンポート八代（大型クルーズ客船航路）

〇域内交通

一般バス：産交バス（市内一円）、神園交通（熊本空港―八代市内）

⑥　泉・五家荘地域

〇区域までの交通

国　道：国道３号線、国道４４３号線、国道４４５号線

〇域内交通　　なし

【外国人観光客への対応】

①　　八代中心市街地

○ これまで

港にクルーズ船が寄港した際には、港からシャトルバスを運行することで、外国人観光客の増加を図っている。

また、昭和３０年代後半から、本市の経済団体では、台湾基隆市の経済団体との交流があり、外国人に対しての勉強会や相互の視察などを実施している。

○ 今後

・ガストロノミ―を中心としたツアー造成では、農業収穫体験や産業観光、飲食店を回遊する商店街散策など魅力ある商品を造成する。
・くまモンポート八代に寄港するクルーズ船の乗客及び乗員を対象とした旅行商品を造成。
・ツアーの提案については、県や経済団体と連携して実施する。
・船社や旅行会社へのセールスと併せて、旅行会社担当者を招聘するファムツアーを実施し、クルーズ船受け入れの様子や各観光名所等を見学していただく。

②　　日奈久地域（温泉街）

○ これまで

港にクルーズ船が寄港した際には、多くの外国人が当該区域に行けるように、港や中継地点からシャトルバスを運行している。

○ 今後

ツアー造成では、温泉を活用した魅力ある商品を造成。

③　　坂本・二見地域

○ これまで

観光関係者を中心に外国人への対応の仕方など勉強会を実施した。

○ 今後

ツアー造成では、球磨川や温泉センタークレオンを活用した魅力ある商品を造成

④　　千丁・鏡地域

○ これまで

観光関係者を中心に外国人への対応の仕方など勉強会を実施した。

○ 今後

ツアー造成では、農業収穫体験など魅力ある商品を造成。

⑤　　東陽地域

○ これまで

観光関係者を中心に外国人への対応の仕方など勉強会を実施した。

○ 今後

ツアー造成では、農業収穫体験など魅力ある商品を造成する。

⑥　　泉・五家荘地域

○ これまで

現在、五家荘地域でＦＩＴ対応ガイドツアーを実施している。

○ 今後

ツアー造成では、農業収穫体験や紅葉など魅力ある商品を造成する。

五家荘では、外国人対応へのガイドツアーを実施しているため、連携して行う。

様式１

３．各種データ等の継続的な収集・分析

収集するデータ	収集の目的	収集方法
旅行消費額	来訪者の消費活動の動向を分析し、地域の持つ資源とその価値を活かした効果的なマーケティングと経済効果を生む仕組みづくりを進めるため。	宿泊施設等に設置している観光アンケートを基に算出。観光アンケートでは交通費、宿泊費、食事代、買い物費用などを収集し、そこから一人当たりの観光消費額を算出している。
延べ宿泊者数	宿泊は消費単価が増加することから、戦略的に宿泊者数を増加させるため。	市が発表する観光統計表を基に記入。
来訪者満足度	満足度を高めることにより、旅の目的地として選ばれる地域づくりを目指すため。	宿泊施設等に設置している観光アンケート内にて同項目の調査、収集している。
リピーター率	地域の価値を伝え満足度を高めることにより、一度来訪した客の再訪率の向上を目指すため。	宿泊施設等に設置している観光アンケート内にて同項目の調査、収集している。
ＷＥＢサイトのアクセス状況	地域の観光情報やイベントに関する興味をはかるため。	当法人ホームページの運営会社よりアクセス状況を確認
住民満足度	住民による地域の観光振興に関する理解度をはかるため。	市民に対するアンケート調査を実施。その結果を記入している。

４．戦略

（１）地域における観光を取り巻く背景

八代地域は、雄大な自然と歴史的遺産が調和する魅力的な地域だが、観光においてはいくつかの課題も抱えている。以下に、八代地域の観光を取り巻く背景を記す。

1. 強み

- **豊かな自然環境:** 九州山地の山々、球磨川の清流、不知火海など、変化に富んだ自然環境は、観光客に癒しやアクティビティの機会を提供する。特に、球磨川はラフティングやカヌーなどの体験型観光の場として人気を集めている。
- **歴史と文化:** 400 年以上の歴史を持つ八代城跡や、伝統的な祭りである「妙見祭」、石橋づくりの技術など、地域特有の歴史・文化は貴重な観光資源である。
- **温暖な気候と美味しい食:** 温暖な気候で育まれた柑橘類やトマトなどの農産物はもちろん、「晩白柚」のように全国的な知名度を誇る特産品もある。また、球磨川の鮎や不知火海の魚介類など、新鮮な食材を活かした料理も魅力。

2. 課題

- **交通アクセス:** 熊本市や福岡市といった主要都市から比較的距離があり、公共交通機関も限られているため、観光客にとってアクセスが容易とは言えない。特に、個人旅行者にとっては移動手段の確保が課題となる。
- **観光客の滞留時間の短さ:** 日帰り温泉施設や道の駅など、点在する観光スポットを巡る観光客が多く、地域全体での滞在時間が短い傾向にある。宿泊施設の充実や滞在型の観光コンテンツ開発が求められる。
- **知名度の向上:** 他の九州地方の観光地に比べて、全国的な知名度は高くない。地域の魅力を発掘し、効果的に PR することで、より多くの観光客誘致を目指していく必要がある。

3. 今後の展望

- **体験型観光の推進:** サイクリングなどのアウトドア体験、自然を活かした体験型観光コンテンツの充実が期待される。
- **歴史・文化資源の発掘と活用:** 八代城跡の整備や祭りとの連携など、歴史・文化資源の魅力を更に高め、観光客誘致につなげていく必要がある。
- **地域連携の強化:** 周辺地域と連携した広域観光ルートの開発や、観光客の周遊促進による地域経済の活性化が必要となる。

様式１

（２）地域の強みと弱み

	好影響	悪影響
内部環境	**強み（Strengths）** ・新幹線・高速道路等、外からのアクセスが良く、市域内にはＪＲ、おれんじ鉄道など多彩な観光列車が存在する ・八代海の温暖な気候が、柑橘系フルーツの生産を市域全体で可能ならしめ、南国独特の物産品、食品が多い ・広い市域面積を誇り、海・山・川の自然の魅力に富んでいる。 ・都市部、山間部、温泉地など、地域ごとに特徴を活かした宿泊の選択肢が多い。 ・西日本唯一の全国花火競技大会やユネスコ無形文化遺産である妙見祭など誇れるイベントが存在する。これらイベントに県内観光客が日帰りで多く訪れている。 ・地元住民間の絆・繋がりが強く、おもてなしの気持ちが行き届いている。 ・八代港にクルーズ船の拠点「くまモンポート」がオープンしており今後の熊本県の海の玄関口として期待される。	**弱み（Weaknesses）** ・団体客から小グループ、ＦＩＴ中心にシフトすれば、観光のイメージが弱い八代にとっては観光客から選ばれなくなる。 ・八代駅・新八代駅から市の各地域へのアクセスが悪い。観光ポイントも広域に分散立地し、アクセスが悪い。 ・日奈久温泉地域と五家荘地域の疲弊、問題地域化している。 ・イベント時期に観光客が固まっている。 ・ワンストップ拠点の八代駅・新八代駅が通過駅となり、玄関口・ワンストップ窓口としての機能が弱い。 ・お土産品として絶対的な八代ブランドがない。 ・山間地域や河川流域の通信環境や二次的交通環境が整っていない。 ・観光、地域づくり面の人材不足、女性の参画が少ない。 ・地区内や単体組織と他地区や他組織との温度差がある。 ・単発のイベントのアピールにこだわり、それぞれの優れた素材の繋がりが薄い。
外部環境	**機会（Opportunity）** ・コロナによりマイクロツーリズム需要が増えれば、熊本県第２の都市として足元人口約１２万人をターゲットにできる。 ・アウトドアに観光客がシフトしているので山、川、海の自然をすべて持っている八代にとってチャンスである。 ・球磨川河川敷でバーベキューができる無料施設が完成しアウトドアなど利用する人が増える。 ・五家荘という観光地ブランドの存在とツーリズムの潜在力。	**脅威（Threat）** ・コロナによる観光経済の低下。 ・会員様の経営難による脱退等による収入減

※上記に加え、ＰＥＳＴ分析等の他のマーケティング分析手法を用いて分析を行っている場合は、その内容を記入（様式自由）。

（３）ターゲット

○第１ターゲット層
八代市民及び八代市から１時間圏内の県民。

○選定の理由
八代市は広大であり、地元住民が行ったことがないところ、地元のことを知らないことが多く、この機会に改めて地元の良さ、歴史文化を知って、住民間の交流、郷土愛を育み、ファンになることで地元の誇りに繋がり、結果県外客やインバウンドの方へのおもてなしにも表れてくることを期待するため。

○取組方針
八代の特産品を活用したガストロノミーツーリズムを実施している。
特に八代市東陽町の特産品である生姜にスポットを当てて、生姜焼きのまちづくりを推進している。地域特産品の他、地域の日本遺産を活用したイベントや修学旅行も開催し、地域の魅力の発信に取り組む。
また、地域に点在する日本遺産を音声ガイドにより案内するシステムを構築し、体験旅行商品を造成した。

○第２ターゲット層
県内外のＦ２層（３０代・４０代の女性）を中心とした旅行客

○選定の理由
Ｆ２層（３０代・４０代の女性）は、経済力、行動力、情報発信力などがあり、旅行に対して多様かつ個性的な目的を求めている世代でもある。そのため、八代に魅力的な農作物や自然・文化をこちらから発信し、多くの方に来ていただき、付加価値のある旅行商品の提供により、八代地域の経済の活性化に努めていく。

○取組方針
「食」「学」「美」をコンセプトにした商品の造成
（１）旅行商品販売
「食」
・農林水産物（トマト、晩白柚、柚子、しょうがなど）の収穫体験型のツアーの造成
・域内で生産される柑橘類の洗い出しとコンセプトに対応した旅行商品開発
「学」
・歴史建造物や文化財を活用した体験型旅行商品の造成・開発
・地域特産品を活用した体験型旅行商品の開発
・市学芸員などをガイドにした旅行商品の開発
「美」
・日奈久温泉を活用した商品の造成
・五家荘の自然を活用した体験プログラムの造成
（２）イベント
・八代の食を活用したＯＮＳＥＮガストロノミーウォーキングの開催
・地域の自然、文化、食などの魅力を再発見する謎解きロゲイニングの開催
（３）情報発信
・ホームページやＳＮＳ（Ｆａｃｅｂｏｏｋ・Ｉｎｓｔａｇｒａｍなど）での情報発信
・エージェント（福岡や熊本市内などの旅行代理店）訪問
・都市圏での観光ＰＲ実施
・台湾でのインバウンド向け観光ＰＲの実施
・地域のゆるキャラを活用した情報発信

○第３ターゲット層
旅行会社、国内個人旅行客

○選定の理由
多様な関係者との連携を図り、ＤＭＯやつしろを核とした観光地域づくりを目指す。

○取組方針
・スポーツ大会の誘致や宿泊の斡旋、調整

・経営戦略を立て効果的に事業を執行する専門的人材の活用及びプロフェッショナル職員の育成
・ラウンドオペレーター、サプライヤーとなるべく人材の育成、多言語・日本語ガイド育成
・国の史跡に指定されている八代城跡で散策ガイドツアーを展開し、飲食店事業者などと連携した事業を推進する

〇第４ターゲット層
台湾・中国・香港など東アジア地域の旅行客

〇選定の理由
クルーズ船の八代港への寄港数は、平成２７年度は１１回、平成２８年度は１７回、平成２９年度は６０回以上の入港実績を数えた。しかし、新型コロナが発生し、寄港数は０回となった。令和４年度に国内邦船が寄港し、令和５年度には１８回の寄港があった。令和６年度には３２回の寄港があり、徐々にではあるが復調の兆しを見せている。国などの支援を受けゆっくりではあるが、寄港数の上昇や海外旅行者の入国も進んでいるため、クルーズ船顧客のみならず、台湾や香港など東アジアの個人旅行客に対しても、イベントや祭り、農作物の収穫などの体験型旅行商品を販売し、八代や九州を楽しんでもらい、旅行のすばらしさと継続して震災復興に取り組む「くまもと」を広める。旅行商品の造成には、マーケティング調査やランドオペレーターの意見を分析し、ターゲット層に強力に訴求するコンテンツを磨き上げる。

〇取組方針
１．ＦＩＴ対応
・中山間地域や農産地域などへの施設や圃場などを訪問し、観光資源の再発掘を行う。
・伝統文化（茶会・浴衣の着付け体験、八代城跡でのイベント開催）
・旅行者にとっては、行政区域はほとんど意味を有さないという「顧客視点」に鑑み、観光資源は八代地域の拘らず、熊本県南地域や南九州地域も交え作成する。
・英語表記サインの指導及び提供
２．クルーズ船顧客対応
・大型クルーズ船の旅行者を対象にしたツアー企画を作成する。
・出港時間の制約があるため、八代城跡や本町商店街を散策できる短時間ツアーなども造成する。
・地域事業者と連携して、クルーズ船の寄港中限定で八代地域の特産品が販売できるような物産展を開催する。
・県南自治体とのツアー造成のための連携（芦北町、水俣市、人吉市など）
・前述したとおり、観光資源は八代地域の拘らず、熊本県南地域や南九州地域も交え作成する。
・県南１５市町村の地域の豊かな魅力を映像に落とし込み、クルーズ船・海外メディア・旅行関連会社などへＰＲする。

（４）観光地域づくりのコンセプト

①コンセプト	「やつしろシトラス（知っとらす）観光圏」地域づくり 〇基本コンセプト 九州の背景である山深い五家荘から西の不知火海まで多様な自然環境を有する八代市はトマトなど農業生産が盛んで、特に晩白柚（ばんぺいゆ）に代表される柑橘類が盛んに生産されている。その豊かな自然環境を土台に、無形文化遺産へ登録された八代妙見祭など文化や歴史が色濃く受け継がれてきた。
②コンセプトの考え方	〇多様な柑橘系のフルーツが生産され、山・川・海の文化を育んだ自然の力 〇温暖な気候が温州みかんだけでなく、晩白柚、デコポン、甘夏ミカン、パール柑、金柑、柚子、ザボンなどの多様な柑橘を生み、人の生活・生業によってイ草、塩トマト、梨、茶などが登場 〇収穫可能な恵みの柑橘(シトラス)の里から、国内外の人々が憩う文化・交流(「知っとらす」地域学・地元学)の里へ 〇自然な恵みのシンボルとしての柑橘を意味する「シトラス」 〇八代地方の方言である「知っとらす（＝知っている)」 感動・満喫・柑橘の里 　また、来たくなるシトラスの国 （自然の恵み）トマト、柑橘類、い草、梨、茶、生姜、晩白柚 （わざと知恵）秘境五家荘、宮地紙漉き、日奈久温泉文化 （祭事・祈り）八代妙見祭、鮒取り神事、久連子の古代踊りほか

５．関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

項目	概要
戦略の多様な関係者との共有 ※頻度が分かるよう記入すること。	年間３回以上の理事会と定時総会を開催し、行政、経済団体、宿泊事業者、交通事業者など多様な理事と協議し連携を図っている。 また、各地域においても地域住民の方々や地域の振興団体と一緒にイベントを実施するなど、多様な関係者との取組みに発展している。
	観光地域づくり法人としては、クルーズ活性化協議会、まちひとしごと策定委員会、総合計画策定員会、各種市イベントの実行委員会、各地域のお祭りに関する実行委員会など各種協議会の委員として、観光分野における参画を行っており、様々な関係者との連携・共有をおこなった。
観光客に提供するサービスについて、維持･向上・評価する仕組みや体制の構築	地域にある３つの旅館組合と密に連携、情報共有を図りながらサービスの向上、維持に取り組む。 観光客のアンケート調査結果について情報共有を図った。
観光客に対する地域一体となった戦略に基づく一元的な情報発信･プロモーション	八代駅観光案内所や新八代駅観光案内所を起点として、質の高い情報発信に努める。 各種ＳＮＳを中心とした情報発信を行い、国内外に地域情報や観光情報、イベント情報などを発信した。

※各取組について、出来る限り具体的に記入すること。

６．ＫＰＩ（実績・目標）

※戦略や個別の取組を定期的に確認・改善するため、少なくとも今後３年間における明確な数値目標を記入すること。
※既に指標となりうる数値目標を設定している場合には、最大で過去３年間の実績も記入すること。

（１）必須ＫＰＩ

指標項目		2022（Ｒ４）年度	2023（Ｒ５）年度	2024（Ｒ６）年度	2025（Ｒ７）年度	2026（Ｒ８）年度	2027（Ｒ９）年度
●旅行消費額（百万円）	目標	1,000	1,000	7,700	10,000	10,000	10,000
		（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
	実績	7,788	7,742	9,765			
		（ ）	（ ）	（ ）			
●延べ宿泊者数（千人）	目標	250	350	300	300	300	300
		(3)	(3)	(3)	(5)	(5)	(5)
	実績	278	282	286			
		(3)	(3)	(5)			
●来訪者満足度（%）	目標	80	80	87	90	90	90
		（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
	実績		87	88			
		（ ）	（ ）	（ ）			
●リピーター率（%）	目標	40	45	70	70	70	70
		（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
	実績		72	72			
		（ ）	（ ）	（ ）			

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】
・市で収集している宿泊者数を実数値とし、宿泊施設で実施した観光アンケートの観光消費額の平均額を掛け算して八代市の消費額とする。宿泊施設や観光案内所でのアンケートを基に満足度、リピート率を図っていく。旅館ホテルと連携し、宿泊者へのアンケート調査をもとに、観光に来ていただいた方の満足度を高め、リピーターになっていただくことで底上げを図っていく。

【設定にあたっての考え方】
●旅行消費額
観光アンケートを基に交通費、宿泊費、食事代、買い物費用などを合算し、一人当たりの観光消費額を算出。近年は物価高騰等もあり、観光消費額自体は増加している。
●延べ宿泊者数
八代市で収集している数字を用いる。豪雨災害による工事作業員の長期滞在が影響し、増加傾向である。また、八代の宿泊の特徴として、教育旅行や学校のスポーツ大会、全国花火競技大会などの団体客、イベントで宿泊する人が多い。
●来訪者満足度
各宿泊施設にて記入式アンケートを実施している。令和２年度より実数値が取れていなかったが、令和５年度から実施。その集計結果を記す。
●リピーター率
令和５年度より宿泊施設におけるアンケート調査を実施。

様式１

（２）その他の目標

指標項目		2022（Ｒ４）年度	2023（Ｒ５）年度	2024（Ｒ６）年度	2025（Ｒ７）年度	2026（Ｒ８）年度	2027（Ｒ９）年度
●くまナンステーション売上（店舗）（万円）	目標	950	200	620	620	620	620
		（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
	実績	285	620	480			
		（ ）	（ ）	（ ）			
●サイトアクセス数（月平均）	目標	5,000	5,000	6,000	7,000	7,000	7,000
		（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
	実績	5,425	6,530	4,452			
		（ ）	（ ）	（ ）			
●会員数（会員）	目標	120	120	120	120	130	140
		（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
	実績	112	110	106			

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値
※各指標項目の単位を記入すること。

指標項目及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】
くまナンステーション…自主財源を確保する事業として設定
サイトアクセス数…情報発信力をはかる為の指数として設定
会員数…地域事業者の観光振興への意識及び当法人に関する認知度として設定

【設定にあたっての考え方】
●くまナンステーション売上（店舗）
くまモングッズ専門店として運営。観光客やクルーズ船乗船客向けに商品を販売。
コロナ禍では売り上げの減少があったものの、令和５年度はクルーズ船乗船客に対して人気を博した。令和６年度については市内ツアーの減少によりクルーズ船乗船客に対しての売り上げが伸び悩んだ。今後は観光客やクルーズ船乗船客を取り込めるように新商品開発や地域ツアーの造成などによる売り上げの増加を目指す。
●サイトアクセス数（月平均）
ホームページについては観光情報、イベント情報等を中心に掲載。
今後、観光情報については市観光情報 HP と統合する形となる為、今後はＳＮＳを中心とした情報発信を行う。ホームページにはＳＮＳを新着情報として掲載することで、最新の情報がホームページ、ＳＮＳの両方から確認することが出来るようになる為、利便性の向上を図るとともにアクセス数の増加を目指す。
●会員数
当法人の会員数については、地域事業者の観光振興への意識に関する指数の一つとして考える。
今後は会員制度の見直しにより会員拡大を図り、それにより、地域事業者の観光振興に関する意識の向上を目指す。

様式１

７．活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

※少なくとも今後３年間について、計画年度毎に（１）収入、（２）支出を記入すること。
※現に活動している法人にあっては、過去３年間の実績も記入すること。

（１）収入

年（年度）	総収入（円）	内訳（具体的に記入すること）
2022（Ｒ４） 年度	188,430,000（円）	（内訳の区分） 【会費収入：1,750,000 円】 【補助金事業：33,300,000 円】 【委託事業：122,000,000 円】 【自主事業：11,750,000 円】
2023（Ｒ５） 年度	147,859,326（円）	（内訳の区分） 【会費収入：1,650,000 円】 【補助金事業：32,381,000 円】 【委託事業：81,531,881 円】 【自主事業：31,993,775 円】
2024（Ｒ６） 年度	148,795,511（円）	（内訳の区分） 【会費収入：1,620,000 円】 【事業収入：147,048,208 円】 【雑収入：127,303 円】
2025（Ｒ７） 年度	146,626,000（円）	（内訳の区分） 【会費収入：1,690,000 円】 【事業収入：144,936,000 円】
2026（Ｒ８） 年度	160,000,000（円）	（内訳の区分） 【会費収入：1,700,000 円】 【事業収入：158,300,000 円】
2027（Ｒ９） 年度	160,000,000（円）	（内訳の区分） 【会費収入：1,700,000 円】 【事業収入：158,300,000 円】

（２）支出

年（年度）	総支出（円）	内訳（具体的に記入すること）
2022（Ｒ４）年度	176,842,000（円）	（内訳の区分） 【事業費支出：172,220,000 円】 【管理費支出：4,621,000 円】
2023（Ｒ５）年度	149,849,844（円）	（内訳の区分） 【事業費支出：143,016,921 円】 【管理費支出：6,832,923 円】
2024（Ｒ６）年度	150,196,670（円）	（内訳の区分） 【事業費支出：146,070,242 円】 【管理費支出：4,126,428 円】
2025（Ｒ７）年度	162,827,000（円）	（内訳の区分） 【事業費支出：159,657,000 円】 【管理費支出：3,170,000 円】
2026（Ｒ８）年度	160,000,000（円）	（内訳の区分） 【事業費支出：156,000,000 円】 【管理費支出：4,000,000 円】
2027（Ｒ９）年度	160,000,000（円）	（内訳の区分） 【事業費支出：156,000,000 円】 【管理費支出：4,000,000 円】

（３）自律的･継続的な活動に向けた運営資金確保の取組･方針

・令和４年度以降、プロパースタッフや派遣人材についての補助金を創設いただき、一定額の補助金を受けている。
・県、市からの委託業務を複数件受託し、その事業費の一部を一般管理費として収入としている。
・国の補助事業、委託事業にも積極的に提案し、観光地域づくり法人として地域との連携強化を図るとともに、事業費の一部を賄っている。

８．観光地域づくり法人形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

・八代市では、市内における観光振興を推進するため、一般社団法人 DMO やつしろを中核的な推進組織と位置づけ、様々な観光振興及び物産振興施策を展開している。
・市が取り組む施策においては、市内における観光事業者と強いネットワークを有している DMO との連携が不可欠であるため、DMO の運営を支援するとともに、観光地域づくり法人の安定的な運営に向け、法人の経営状況等について両者間で情報共有を図っている。

９．マネジメント・マーケティング対象区域が他の地域連携ＤＭＯ（県単位以外）や地域ＤＭＯと重複する場合の役割分担について（※重複しない場合は記載不要）

【他の地域連携ＤＭＯや地域ＤＭＯとの間で、重複区域に関する連携や役割分担等について協議を行った（行っている）か】

カッセジャパンとはお互いの強みを活かしながら、地域での調整などをＤＭＯやつしろが担い、地域外の調整についてはカッセジャパンで担いながら事業を推進している。

【区域が重複する背景】

カッセジャパンは熊本県南地域（八代、水俣・芦北、人吉・球磨）を対象とし、地域産品の販促や観光素材の磨き上げ、それによる旅行商品化、販促を行う地域連携ＤＭＯである。

ＤＭＯやつしろは八代市を対象エリアとする地域ＤＭＯであり、より地域に密着した観光地づくりを担っている。

【重複区域における、それぞれの DMO の役割分担について】

カッセジャパン：熊本県観光連盟など受託事業で八代地域に送客するなどの業務

ＤＭＯやつしろ：地域内での体験の手配、地元調整業務など

【前述の役割分担等によって、効率的、効果的な活動の遂行が期待できるか】

ＤＭＯやつしろは地域に密着した観光地づくりが可能であり、地域の魅力の再発掘や地元での調整を行う。地域に関わるそれぞれのＤＭＯが各々の役割を担うことで、更なる地域の発展を図る。

１０．記入担当者連絡先

担当者氏名	橋本　裕二
担当部署名（役職）	係長
郵便番号	866-0861
所在地	熊本県八代市本町１丁目 10-36　ヨネザワビル
電話番号（直通）	0965-31-8200
ＦＡＸ番号	0965-32-2334
Ｅ－ｍａｉｌ	yuji.dmo.8246@gmail.com

１１．関係する都道府県・市町村担当者連絡先

都道府県･市町村名	熊本県八代市
担当者氏名	村田　英展
担当部署名（役職）	主査
郵便番号	866-8601
所在地	熊本県八代市松江城町 1-25
電話番号（直通）	0965-33-4115
ＦＡＸ番号	0965-33-4516
Ｅ－ｍａｉｌ	hide-mfa@city.yatsushiro.lg.jp

（登録）【地域DMO】（一般社団法人DMOやつしろ）

様式2

記入日：　令和　7年　7月　31日

基礎情報

【マネジメント・マーケティング対象とする区域】
　熊本県八代市
【設立時期】　平成28年3月1日
【設立経緯】
①区域に観光協会があるが、役割分担等をした上でDMO新設
【代表者】　代表理事　福島　誠治
【マーケティング責任者（CMO）】　中村　和博
【財務責任者（CFO）】　佐藤　圭太
【職員数】　18人【常勤10人（正職員8人・出向等2人）、アルバイト8名】
【主な収入】　収入合計　148百万円　（令和6年度決算）
　会費収入　1百万円、事業収入　147百万円
【総支出】　　支出合計　150百万円　（令和6年度決算）
　事業費支出　146百万円、管理費支出　4百万円
【連携する主な事業者】
熊本県、八代市、八代商工会議所、八代市商工会、JA、漁協、旅館組合、スポーツ協会、熊本県観光連盟等

KPI（実績・目標）

※（　）内は外国人に関するもの。

項目		2022（R4）年度	2023（R5）年度	2024（R6）年度	2025（R7）年度	2026（R8）年度	2027（R9）年度
旅行消費額（百万円）	目標	1,000（　）	1,000（　）	7,700（　）	10,000（　）	10,000（　）	10,000（　）
	実績	7,788（　）	7,742（　）	9,765（　）	—	—	—
延べ宿泊者数（千人）	目標	250（3）	350（3）	300（3）	300（5）	300（5）	300（5）
	実績	278（3）	282（3）	286（5）	—	—	—
来訪者満足度（%）	目標	80（　）	80（　）	87（　）	90（　）	90（　）	90（　）
	実績	（　）	87（　）	88（　）	—	—	—
リピーター率（%）	目標	40（　）	45（　）	70（　）	70（　）	70（　）	70（　）
	実績	（　）	72（　）	72（　）	—	—	—

戦略

【主なターゲット】
市民、1時間圏内の県民、県内外のF2層（30代・40代の女性）、旅行会社、国内個人旅行客、諸外国の旅行客
【ターゲットの誘客に向けた取組方針】
地域特産品を活用したガストロノミーツーリズム
地域の魅力を活かしたイベントの開催
クルーズ船乗船客向けのツアー商品造成
【観光地域づくりのコンセプト】
「やつしろシトラス（知っとらす）観光圏」
地域づくり

具体的な取組

【観光資源の磨き上げ】
・ふるさと納税返礼品事業者を巡るツアーの開催
・地域事業者と地域産品の掘り起こしによるツアーの造成
・地域資源を活用したサイクリングコースの策定
・音声ガイドシステムを活用した地域案内の開発、造成
【受入環境整備】
・大型クルーズ船受入対応
・やつしろ全国花火競技大会バスツアー対応
・八代妙見祭開催時における観覧席、シャトルバス、駐車場の運営

【情報発信・プロモーション】
・全国各地で開催されるイベントに出展し、ふるさと納税及び観光PRの実施
・県内各地で特産品を販売する物産展の開催
・台湾での観光PR及び旅行会社向け商談会への参加

台湾での旅行会社向け商談会

イベント出展による地域情報PR